

1 図の例

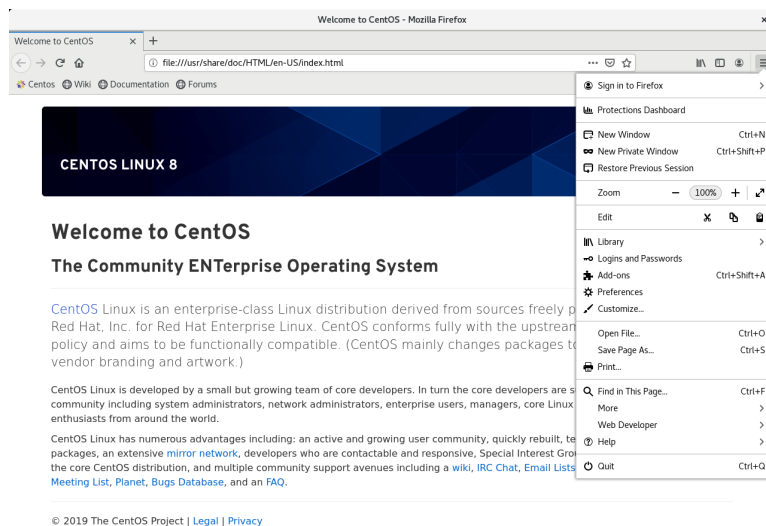


図 1 \includegraphics 命令と figure 環境を用いた図版の例

画像の一部を切り出して表示することもできます。

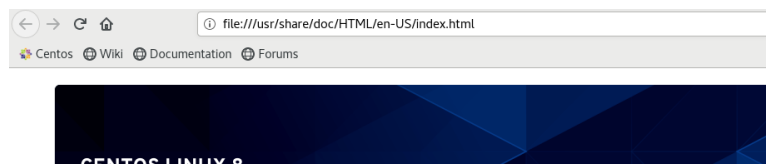


図 2 タイトル、キャプション

1.1 図番号の例

図 1 は Firefox の起動画面です. 図 2 は図 1 の一部を切り出したものです.

2 表の例

2.1 tabular 環境を利用した表の例

2.1.1 シンプルな表の例

Column1	Column2	Column3	Column4
Right	Left	Center	MMMMM (5 em)
Aaaaaaa	Bbbbbbb	Cccccc	Ddddddd

2.1.2 横罫線のためのシンプルな表の例

Column1	Column2	Column3	Column4
Right	Left	Center	MMMMM
Dd	E	F	G

2.1.3 複雑な表の例

専門基礎科目一覧		
確率統計学	2	3 年前期
幾何学 I	2	2 年後期
幾何学 II	2	3 年前期
量子力学	2	2 年後期
統計力学	2	2 年後期
単位合計	12	


2.2 tabularx 環境を利用した表の例

表 1 は tabularx 環境を用いて作成されているとともに、table 環境の中に入れて図版の figure 環境と同様、ページ中の配置の制御と caption 命令による表タイトルの付加も行なっている。table 環境は tabular 環境で作成した表にも適用できる。

表1 表のタイトル（一般的には表の上を書く）

番号	料理	材料 (4 皿分)	一皿当りのカロリー (Kcal)
1	カレー	肉 200g、玉ねぎ 2、人参 2、じゃがいも 2、市販のルーなど	900
2	シチュー	肉 200g、玉ねぎ 2、人参 2、じゃがいも 2、市販のルーなど	900
3	肉じゃが	肉 200g、玉ねぎ 2、人参 2、じゃがいも 2、糸こんにゃく 200g、醤油、砂糖	900

3 図表と文章のレイアウトの例

L^AT_EX 文書の組版の上では、figure 環境や table 環境を使わない図表は大きな「文字」として扱われます。このため、それらの図表はこの画像  のように本文中に入り込む形でレイアウトされます。

wrapfig パッケージに含まれている wrapfigure 環境を使うと、図の周りに本文を回り込ませるレイアウトが実現できます。図 3 が wrapfigure 環境を用いた実例です。`\begin{wrapfigure}{r}{10zw}` の `{r}` でページ中に右寄せで図が配置されます。左寄せにする場合は `{l}` とします。`{10zw}` は図の幅を指定しています。表を回り込み配置したい場合は同じく wrapfig パッケージに含まれている wraptable 環境を



図3 wrapfigure 環境を用いた図の配置の例

使うことができます。

4 マクロの例

以下の文章は `\uoa` マクロを使って出力している。
ようこそ会津大学コンピュータ理工学部へ

midasi マクロを使って見出しを作成

`\midasi` マクロはフォントサイズを変え、上下に線を引いた見出し行を作り出すマクロです。マクロの定義内容のうち一部を書き換えて（例: `\rule` の数値を変更する、字体の指定を変更するなど）、再度コンパイルしてみましょう。出力結果のどこがどの様に変化するか、観察するとマクロの仕組みの一端を理解できるでしょう。